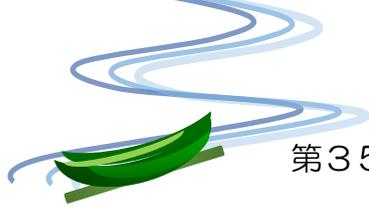


ささぶね

～母校と共に歩む同窓会～



第35号

竹早教員保育士養成所同窓会



しなやかにそして逞しく

会長 清水 道代

新型コロナウイルス感染拡大により様々な影響を受けている皆様、全国各地で発生した災害などにより被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げますと共に、コロナ禍においても子どもたちの為に日々奮闘して下さっている会員の皆様に深く敬意と感謝を表したいと存じます。

昨年度は殆どの事業を中止さざるを得ない状況でしたが、「ささぶね」をご覧くださり、これまで以上に多くの皆様が維持会費を納めてくださいました。また、温かなお言葉も沢山頂戴し、同窓会に心を寄せて下さるお一人お一人に胸が熱くなる思いでございました。

同窓会の運営費は会計報告の通りですが、「ささぶね」の郵送料は支出の多くを占めております。現在、「ささぶね」の在り方も様々な方向から検討中ですが、少しでも支出を抑えるために35号から紙面を新たに発行することとなりました。今後も「ささぶね」は同窓会員の絆をつなぐ場となることを切に願っております。

未だ見通しの立たない日々ですが、創意工夫を重ね、しなやかにそして逞しく母校と連携しながら事業を進めて参ります。引き続き会員の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

【維持会費の報告とお願い】

同窓会を発展させる大きな原動力です。令和2年度は会員の温かいお心に支えられて、184名のご協力をいただきました。おかげ様でささぶね発行への協力など事業を展開することができました。ご協力ありがとうございました。

維持会費振込先

〈振込先〉竹早教員保育士養成所同窓会
ゆうちょ銀行
00160-7-106884

【学生募集（令和4年度）への協力】

母校の学生募集に協力しましょう。お知り合いに「幼稚園教諭・保育士」になりたい方はいらっしゃいませんか。ぜひ、ご紹介ください。

【母校研究発表会について】

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の為、止む無く中止となりました。今年度は、令和3年12月18日（土）に在校生と教職員で実施する予定です。

新任役員挨拶

副会長・会計 山口 直美 (S55年卒)

この度、副会長になりました山口直美です。会計との両立になりますが、引き続き同窓会を盛り立てられるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

このコロナ禍の影響で思うように行事ができない状況ではありますが、こんな時代だからこそ出来ることを考えながら、同窓会がより一層発展していけるようにと願っております。

2020 東京五輪

学校法人竹早学園

理事長 **吉野 尚也**



東京はコロナ禍で四回目の緊急事態宣言中ながら1年遅れの<2020 東京五輪>を遂に開催しました。

前回1964年の東京オリンピックは、アジアで初めて開催されるオリンピックとして敗戦で焦土と化した日本が戦後の荒廃から立ち上がった姿を世界に示すものでもありました。

今回は、世界中が100年に一度といわれるコロナウイルスの集団感染が蔓延する中だけに、世界一安全で衛生的と言われる東京で如何にして「安全・安心」な大会が開催できるか、大会関係者のご苦勞は計り知れないものだろうと推察に余りあります。

今から100年前、1920年の第7回アントワープ大会もスペイン風邪の大流行で開催が危ぶまれたものの、第6回大会が第一次大戦で流されただけに、“二度と戦争を引き起こすな”との願いを込めて開催されたのです。

「やめろ!」「中止しろ!」と無責任な輩の声に屈せず、初志貫徹したリーダーに拍手を贈る一人です。

竹早教員保育士養成所 副所長 **赤津 裕子**

この4月から副所長を拝命いたしました。どうぞよろしく願いたします。

同窓会は養成所と卒業生を結ぶかけ橋として大きな存在であります。そして、長い歴史と伝統をもつ本養成所を支え、同窓会を組織し、運営し続けてくださっていることに改めて感謝申し上げます。

実習の巡回で幼稚園や保育所・施設を訪れますと、多くの卒業生に出会います。子どもに優しいまなざしを向け、笑顔で語りかけ、はつらつと動く姿からは頼もしさを感じます。

時代は大きく変化し、教育や保育においても新しい方向性がうたがわれています。そのような中でこそ、同窓会の皆様と共に研究をすすめ社会へ貢献できたらと思っております。

何年か前に神戸である園長先生にお声かけいただきました。現在の自分があるのは竹早の教えのおかげとおっしゃっていました。母校を誇りに思える養成校として、これからも保育者をめざす学生のために尽力して参ります。

まだ、終着点が見えてこない

竹早教員保育士養成所

所長 **齊藤 光一**



令和3年度に入っても、新型コロナウイルス感染症対策を継続して行っています。

前期十五回の授業は、十回は対面授業、五回は遠隔授業とし、対面授業を重視しての実施となっています。四月当初は、一年生と二年生はそれぞれ対面授業、四月半ばから、二年生が対面授業をしているときは、一年生は遠隔授業を行うという分散登校方式を取り入れました。同一時間に校内にいる学生数を少なくし、密になるのを防ぐためです。また、五月に実施した二年生の保育実習は無事に終了することができました。七月の保育実習も無事に終了できることを願っています。

後期には、両学年の学生が交流できる機会をできるだけ増やしていきたいと考えています。厳しい状況の中でも学生の意欲を引き出し、良き保育者に育てていきます。

今後とも同窓会の皆様の温かいご支援、ご協力をよろしく願いたします。

～竹早の教務室から～

竹早教員保育士養成所 教員 **小川貴代子(H8卒)**

令和2年度は、授業も対面ではなく、遠隔授業で行うなど様々なことに制限がかかる生活となりました。学生にとって、多くのことを学べる貴重な2回の保育実習も校内で行うことを余儀なくされました。しかし、実際に現場の先生に来ていただき、具体的なお話を伺ったり、学生が体験的に学べる内容を取り入れたり、試行錯誤しながら、学生も教職員も必死に学内での実習に取り組みました。できないことを嘆くのではなく、今できることを模索しながら、前に進もうと学生と教職員が心をひとつにして進めたことに改めて、竹早の強さを感じることができました。

令和3年度は、感染対策をしながら、対面授業と遠隔授業を交互に取り入れ、学生の元気な姿が見られるようになり、学校も活気が戻ってきました。まだまだ、先行きが不透明な世の中ではありますが、養成所の建学の精神である「誠実にして、有為な幼稚園教員・保育士を養成する」という想いは変わることなく、今年も学生と共に前に進んでいきたいと思っております。

令和3年度竹早教員保育士養成所同窓会理事会組織

役職	氏名	卒業年	役職	氏名	卒業年	役職	氏名	卒業年
会長	清水 道代	S.57	理事	塚越アサ子	S.39	理事	白井 勇哉	H.31
副会長	福田多喜子	S.44	理事	湯澤都与子	S.41	理事	根元 琴乃	H.31
養成所教員・副会長	中村香津美	S.55	理事	清水百合香	S.55	理事	武井 愛香	H.31
副会長	鳩山多加子	S.46	理事	田中 通子	H.8	理事	阿部奈緒美	R.2
養成所職員・副会長・会計	山口 直美	S.55	理事	森 華代	H.15	理事	石田 龍也	R.3
会計	岡川 洋子	S.36	理事	井上 澄恵	H.15	理事	梅田 龍人	R.3
会計監査	小野寺萬亀子	S.38	理事	藤井 大輔	H.24	理事	國井 香	R.3
会計監査	高原 泰子	S.46	理事	岡本 瑛	H.25	理事	杉村 凜果	R.3
養成所教員・理事	小川貴代子	H.8	理事	梁本 友華	H.25	理事	田中航太郎	R.3
理事	田中 靖子	S.33	理事	大廣 千秋	H.26	理事	彦田 龍佑	R.3
理事	釜井 孝	S.39	理事	武井 彩香	H.27			

事務局員 湯澤都与子 岡川 洋子

令和2年度維持会費受付簿（敬称略）

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S.17	片山千代子	S.38	小野寺萬亀子	S.43	石川 正子		竹原 鈴子		本間千恵子	S.55	清水百合香	H.3	古俣 芳
S.20	林 久美子		見城巳代子		岩瀬 紀子		田中美枝子		武藤 裕子		千葉八千代	H.4	内田久美子
S.23	太田 紀子		小池 静枝		大野千恵子		羽生 恭子		吉村成子		中村香津美	H.6	井関公美子
S.24	奥龍加奈子		直江 洋子		亀島喜久子		鉢田 節子	S.50	井上千枝美		野田久美子		佐藤めぐみ
S.27	下平喜代子		水岡 道子		坂本ふみ子	S.46	風間絵美子		大堀万里子		御手洗竹代	H.8	青木 美喜
S.27	北村たづ子		福島 明子		竹内三枝子		金子真理子		高橋 順子		山口 直美		小川貴代子
S.28	梅沢 盛子	S.39	石塚ヒロ子		福原 恵子		高村千恵子	S.51	木谷美和子	S.56	清水 幸枝	H.15	熊谷 和彦
	糸 幸子		鎌田 宣子		布施 睦子		鶴来恵美子		近藤由美子	S.57	市田 弘子		森 華代
	慶徳 京子		木村 陽子	S.44	小畑 貴子		鳩山多加子		坂崎美智子		大松 輝美	H.16	富山 大士
S.29	白田 澄		櫻井能婦子		菊池 芳江		藤株 光子		松岡 桂子		加藤 悦子	H.17	吉澤 裕司
	内田千賀子		塚越アサ子		小林マサ江	S.47	安西 弥生	S.52	大野みどり		清水 道代	H.20	藤井 雅人
	櫻段 玲子		中井 郁子		小林真佐子		落合 敏子		加藤千恵子		西川けい子	H.21	佐藤 明子
	谷内田芳子		原 公子		夏目 篤子		大村 宏子		金子智恵子		渡邊 みさ	H.23	橋本 侑治
	由利美保子		堀江 和子		新島美代子		岡田 幸江		佐々木佳美子	S.58	原 徳子	H.25	岡本 瑛
S.31	梅原美代子		宮本 セツ		星野 清子		鈴木 俊子		四宮 真弓	S.59	河村 美香		梁本 友香
S.33	岸 日子	S.40	岩崎千代子		細田 和子		中道 利恵	S.53	新井 正江		森 貴子	H.26	青木 優
	鈴木さち子		齋藤 和子		本多三枝子	S.48	荒井 潤子		鈴木美智子	S.60	青柳 香代		大廣 千秋
S.34	青木八重子		佐藤 和子		養毛知恵子		片寄 紀子		寺島由美子		大塚 和枝		須賀よし子
	平石 義子		滝口 幸子		村上 明子		利根川久子		中田久美子		佐藤美知江		山中 雅彦
S.35	今野 君江	S.41	猪 和子		八重樫純子		花園千鶴子		長竹 裕子	S.62	加藤久美子	H.27	小古間彩香
	和田 英子		鍋谷三貴子		柳田 睦子		羽場由美子	S.54	阿部 和子	S.63	本間 敏恵	H.28	板脇 和美
	和田 道子		鴫美 恵子		若井寿満子		茂木 由美		大前 悦子	H.1	菅家 直子		萩原 雄一
S.36	岡川 洋子		中村 時子	S.45	樫津小枝子	S.49	安藤 敬子		菊地 妙子		神山 真紀	H.29	大木 亜萌
	高橋 信子		湯澤都与子		大塚 敏子		狩野ゆう子		芹澤 菊野		菊地恵理子		萩原 雄一
S.37	鈴木 峰子	S.42	坂口 保子		加澤 妙子		南部昭子		福原 恵子	H.2	鈴木 陽子		
	鈴木八重子		岩間 輝子		五島たか子		福田美律子		松崎由美子		中村 恵子		

令和2年度 竹早教員保育士養成所同窓会 会計報告

収入の部		支出の部	
会費	728,000	1.事業費	193,455
利息	5	(1)会議費	40,305
雑収入	100,000	(2)研修費	0
維持会費	846,797	(3)会報費	118,550
会費前受金	686,000	(4)入学祝品費	34,600
前年度繰越金	285,456	2.事務費	1,074,001
		(1)印刷費	85,523
		(2)消耗品費	39,296
		(3)事務費	100,000
		(4)交通費	193,720
		(5)通信費	655,462
		3.渉外費	16,000
		4.維持会費積立金	0
		5.予備費	0
		6.次年度繰越金	1,362,802
計	2,646,258	計	2,646,258
定期預金	6,379,000	維持会費積立金	1,053,062



令和元年度 同窓会第19回保育研修会



来年度は、研修会で
お会いできますように…



ささぶねひろば



「コロナ禍が与えてくれたこと」

佐藤めぐみ（桑田）(H6卒)

あたり前があたり前ではなくなった今、自分の人生を振り返り見つめ直す時間が増えました。竹早で学んだ二年間や教員として子どもたちと過ごした月日は、私の人生の中でかけがえのない経験ですばらしい時間を与えてくれました。私の人生も折り返し地点、改めてこれからの年月を実りある時間にしていきたいと思います。

「こんなことがありました」

鴫 美恵子（林）(S41卒)

年少児のかわいい話です。お絵描きの先生が「最後にバックの空を画きましょう」空にハンドバッグをみごとに描き上げた素直で感情豊かな女の子。運動会本番リレーでバトンをタッチは良かったが、急に逆走、ビックリ！元気な男の子（記）

僅かな経験と竹早時代の学びは、何の不安もなく、田舎寺での子育てへと繋がりました。

【事務局だより】

現在もコロナ禍にあり、緊張と不自由な日々の生活ではありますが、会員の皆様いかがお過ごしですか？同窓会もこのような状況下で、計画された事業が中止になり、実施することが大変難しくなっているのが現状です。その中にあっても「ささぶね35号」は、10月1日に発行できる運びとなりました。

同窓会活性化のためにも今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【事務局の仕事】

- ①会報「ささぶね」編集発行②会員名簿：管理、整理
③養成所関連事業協力④維持会費徴収のお願いと活用

【同窓会事務局】

≪開局日 毎週水曜日 10:00~15:00

〒112-0002 文京区小石川 4-1-16

TEL/FAX 03 (3813) 7188



「年をかさねて」

梅原美代子（森）(S31卒)

わが家のベランダから越前堀公園が、よくみえます。近所の企業さんの託児所からお子さんが保育士さんといっしょにあそびにきます。その様子を見てみると竹早で芦田先生の心理学の授業をうけたこと新宿区の幼稚園につとめていた頃がなつかしく思い出されます。今は主人が87才、私が86才でつつがなく過ごしております。

「みてみて ママ！」

村上明子（岩田）(S44卒)

雨上り、長靴を履いた幼子が駐車場に出来た、水溜まりにそろりと入っていく。次第にジャブジャブと大胆になる。傍らに立つ笑顔の母親と言葉を交わしながら.....。最近では珍しい、真剣で弾けるような幼子の姿に出会う。新井紀子著「AIに負けない子どもを育てる」がストンと私の胸に落ちる。

【編集後記】

新型コロナウイルス感染症の影響は緊急事態宣言が長引き、昨年度に続き「ささぶね」発行にも大きな影響を受けました。そんな中、気持ちも新たに「ささぶね35号」の紙面をリニューアルいたしました。

原稿をお寄せ頂いた会員の方には深く感謝申し上げます。

来年度こそは通常の生活に戻り、同窓会の研修会、母校の保育研究発表会「おやすみ処」の参加、親睦会等の活動ができますことを願い編集後記とさせていただきます。

ささぶね 第35号

発行日 令和3年10月1日

発行 竹早教員保育士養成所同窓会

代表者 同窓会長 清水 道代

印刷 株式会社ニューエッジ